

病因病態医学講座／免疫学・寄生虫学領域

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	友成 久平	平成 5 年 9 月－
准教授	高田 伸弘	昭和 57 年 4 月－平成 22 年 3 月 平成 22 年 4 月－シニアフェロー
助教	矢野 泰弘	平成元年 4 月－

2. 研究実績

区 分		編 数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2009～2014 年分	2014 年分	2009～2014 年分	2014 年分
和文原著論文		8	0	—————	—————
英文論文	ファーストオーサー	1	0	6. 449 (6. 449)	0. 000 (0. 000)
	コレスポンデイングオーサー	0	0	0. 000 (0. 000)	0. 000 (0. 000)
	その他	23	1	36. 447 (36. 447)	0. 000 (0. 000)
	合計	24	1	42. 896 (42. 896)	0. 000 (0. 000)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1424001

+K. Okahashi, +N. Oiso, Y. Yano, +A. Kawada: Tick Attachment Cement with a Feeding Cavity in the Deep Dermis of the Penis. Acta Derm Venereol., 2014. 11, DOI: 10. 2340/00015555-2021 (症例報告)

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 一般講演（ポスター）

1424002

Y. Yano, N. Takada, +H. Fujita, +M. Gokuden, +S. Ando: Situations and ultrastructure of spotted fever rickettsiae in nymphal Haemaphysalis hystrix tick, XIV International congress of acarology, 2014. 07, Kyoto (Japan), XIV International congress of acarology abstract book, 2014. 07

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 一般講演（口演）

1424003

*岩崎 博道, *田居 克規, *池ヶ谷 諭史, *酒巻 一平, *重見 博子, *伊藤 和広, 高田 信弘: リケッチア症診療に係る臨床現場の課題, 第 21 回リケッチア研究会 研究発表会, 2014. 12, 東

京都

1424004

高田 伸弘, +清水 達人, +五十嵐 一誠, +小林 一浩, +林 百合香, +石畝 史, 矢野 泰弘, *岩崎 博道, +御供田 睦代, +藤田 博己: 福井県南部で初確認できた紅斑熱 若狭湾地方の環境要因と症例比較から, 第 21 回リケッチア研究会 研究発表会, 2014. 12, 東京都

1424005

矢野 泰弘: マダニ体内における病原体の存在様式から感染時期を推定する, 第 7 回日本リケッチア症臨床研究会, 2015. 01

1424006

高田 伸弘, +夏秋 優, +石畝 史, +藤田 博己, +宇田 晶彦, +山本 正悟, +御供田 睦代, +佐藤 寛子, 矢野 泰弘: 北近畿日本海側で見たダニ媒介性感染症—SFTS、紅斑熱、またつつがむし病の感染環調査 2014 年, 第 67 回日本衛生動物学会大会, 2015. 03, 衛生動物大会特集号, 66 (suppl), 59, 2015. 03

1424007

矢野 泰弘, +石畝 史, +平野 映子, +大村 勝彦, 高田 伸弘: 福井県定点調査地におけるマダニの季節的消長-重症熱性血小板減少症候群の媒介サイクルの解明に向けて, 第 67 回日本衛生動物学会大会, 2015. 03, 衛生動物, 66 (suppl), 60, 2015. 03

(3) 国内学会 (地域レベル)

a. 一般講演 (口演)

1424008

高田 信弘, 矢野 泰弘, *池ヶ谷 諭史, *岩崎 博道, +石畝 史: 西日本域の福井県で確認されたシモコシ型恙虫病、その後の展開, 第 32 回北陸病害動物研究会, 2014. 06, 富山市

1424009

*岩崎 博道, 高田 信弘, *池ヶ谷 諭史, *田居 克規, *酒巻 一平, *重見 博子, 矢野 泰弘, *上田 孝典: 福井県近隣発症のつつが虫病にみる重症化要因, 第 69 回日本衛生動物学会西日本支部大会、第 9 回日本衛生動物学会西日本例会, 2014. 11, 長久手市

1424010

矢野 泰弘, +石畝 史, +平野 映子, +大村 勝彦, 高田 伸弘: 福井県定点調査地におけるマダニの季節的消長-重症熱性血小板減少症候群の媒介サイクルの解明に向けて, 第 69 回日本衛生動物学会西日本支部大会, 2014. 11, 大津市

1424011

高田 伸弘, +夏秋 優, 矢野 泰弘: 兵庫県北部の S F T S 発生域内でのマダニ調査 (予報), 第 69 回日本衛生動物学会西日本支部大会, 2014. 11

1424012

+石畝 史, +平野 映子, +大村 勝彦, 矢野 泰弘, 高田 伸弘: 福井県内のマダニにおける重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) ウイルス遺伝子保有状況の追加調査, 第 69 回日本衛生動物学会西日本支部大会, 2014. 11

b. 一般講演 (ポスター)

1424013

高田 伸弘, +清水 達人, +五十嵐 一誠, +小村 一浩, +林 百合香, 矢野 泰弘, +石畝 史:
福井県南部で初確認できた紅斑熱の速報, 若狭湾地方の環境要因と症例比較から, 第 69 回日本衛生
動物学会西日本支部大会, 2014. 11

3. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	研究種目	課 題 名	代表者名	分担者名	期 間 (年度)	金 額 (配分額)
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	重症熱性血小板 減少症候群のマ ダニ媒介サイク ルの解明	矢野 泰 弘	高田 伸弘	2014	2,340 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	多様化を続ける 紅斑熱群の輻輳 した病態解析に 基づく治療制御 法の確立	*岩崎 博 道	高田 伸弘	2014	1,040 千円
厚生労働省科学 研究費補助金	新型インフル エンザ等 新 興・再興感染 症研究事業	ダニ媒介性細菌 感染症の診断・ 治療体制構築と その基盤となる 技術・情報の体 系化に関する研 究	+安藤 秀 二	高田 伸弘	2014	1,200 千円

4. その他の研究関連活動

(A) 学会の実績

学会の名称	役職名	氏名
日本ダニ学会	監事	矢野 泰弘

(B) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長(主査)・委員の別	氏名
Med. Entomol. Zool.	編集委員	矢野 泰弘

5. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
公開講座	大学連携リーグ 連携企画講座 「健康 に生きるⅡ」, 第2回「今、ダニ媒介感 染症とくに SFTS をどう考えるか」	大学生・専門職業人・一般	高田 伸弘

(B) その他業績

- 矢野 泰弘：寄生虫検査依頼(本学内科, 皮膚科, 近畿大学皮膚科, 香川大学医動物学等)への回答, 虫体の同定、抗体検査および治療指針に関するアドバイス, 1989.04～
- 矢野 泰弘：ダニと疾病のインターフェイス (SADI) , 組織委員として SADI セミナーの年次開催、特に事務局機能を果たして、情報誌も刊行している, 1993.08～
- 高田 伸弘：SADI 組織委員会事務局長, SADI セミナーの年次開催、特に事務局機能を果たして、情報誌も刊行している, 1994.04～
- 高田 伸弘：日本衛生動物学会西日本支部長, 日本衛生動物学会西日本支部の代表として、事務局を運営している, 2005.01～
- 矢野 泰弘：日本衛生動物学会西日本支部会, 庶務幹事として支部会長の補助および支部会の運営, 2005.04～